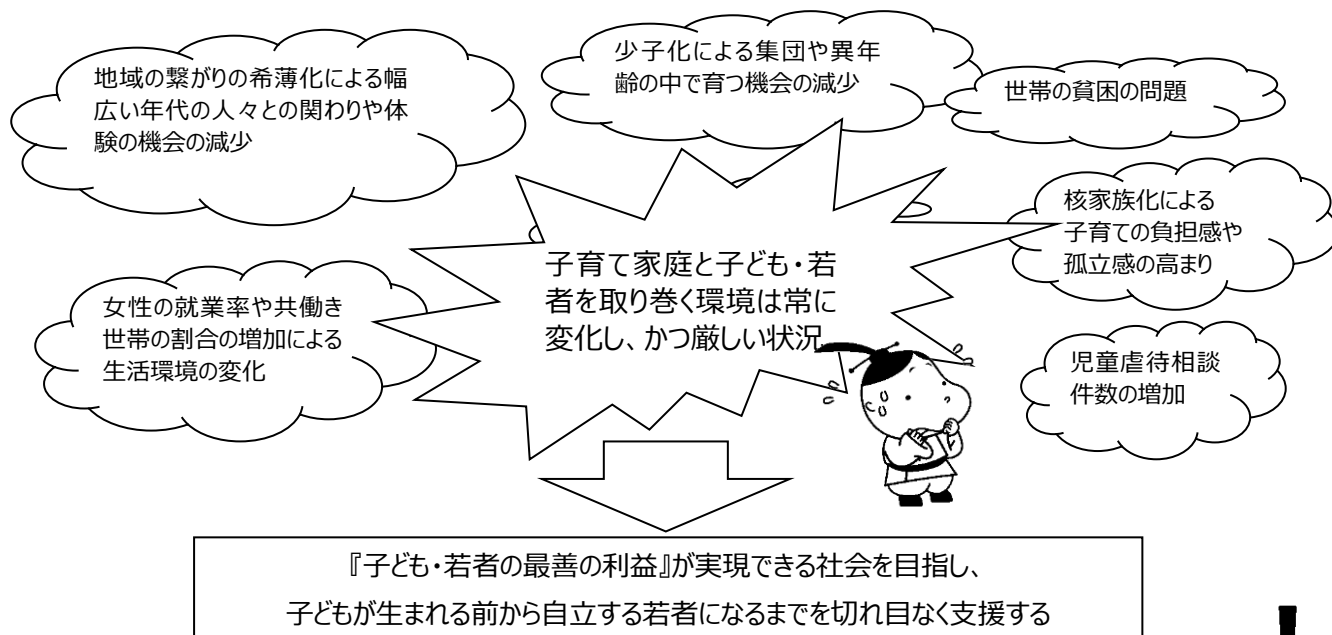


大津市子ども・若者支援計画の進捗について

計画の策定趣旨と基本理念



『大津市子ども・若者支援計画』（R2～R6）

基本目標 みんながつながり、ともに育ち合うまち 大津 ～子ども・若者の輝ける未来のために～

子育て負担感・孤立感を緩和し、子どもの成長に感動し、子育てに喜びを感じながら親も育つ社会の形成

社会のあらゆる分野が子ども・若者への支援について理解と関心を深め、役割を果たしながら支え、育ち合う環境づくり

ひとりひとりが発達段階に応じた個性や能力を発揮しながら自信と誇りをもって成長し、社会で活躍できるよう支援

基本理念を実現するための6つの基本目標

1. 安心して子どもを産み、育てることに喜びを感じられる支援の充実

4. 支援を必要とする子ども・若者へのきめ細やかな支援の充実

2. すべての子ども・若者が健やかに育ち、自立できる環境づくり

5. 貧困の状況にある子ども・若者たちへの支援の充実

3. 行政・学校園・地域が協働で子ども・若者の育ちを支える社会環境づくり

6. 虐待から子ども・若者を守る環境づくり

R 6 年度計画進捗状況総括

◆施策の実施状況について

6つの基本目標ごとにひも付けられた215の事業（再掲を除く）について、51の担当課が自己評価を行った。事業の実施状況の内訳は以下のとおり。

なお、全体（215事業）に対する、拡充・推進した事業（212事業）の割合は下表のとおり。

＜維持・推進＞・・・205事業（▲1事業）	＜拡 充＞・・・7事業（+1事業）
＜縮 減＞・・・1事業（±0事業）	＜休 止＞・・・0事業（▲1事業）
＜事業終了＞・・・1事業（±0事業）	＜廃 止＞・・・1事業（±0事業）

また、215の事業のうち43の事業については、事業ごとに数値目標を設定しており、担当課から毎年度実績の報告を求めている。なお、目標に対する達成度については、下表のとおり。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
拡充、推進した事業の割合	92.96%	92.96%	99.53%	98.14%	98.60%
評価指標事業の達成度合	74.63%	86.68%	93.01%	98.66%	90.54%

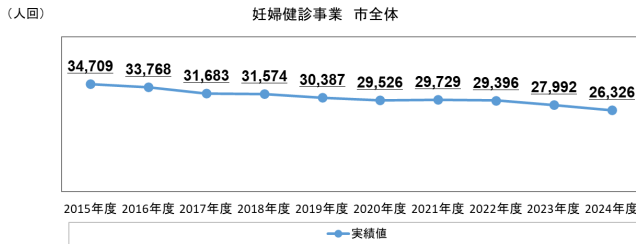
計画期間を通しての総括

◆主な取組の成果について

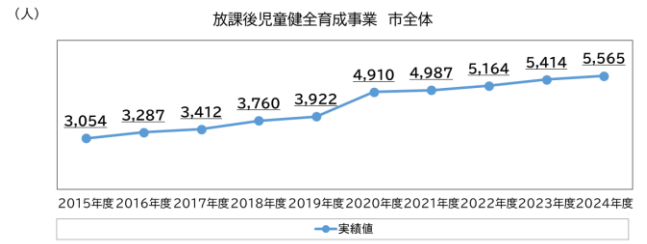
1. 安心して子どもを産み、育てることに喜びを感じられる支援の充実
 - 妊婦健康診査の無料化と産婦健康診査の費用助成を開始した（令和6年度から）（図1参照）。また、子どもの医療費助成制度の拡充をした（令和5年10月から）。
 - 児童クラブにおける学校施設等の活用や民間児童クラブの設置を促進し、利用者受入可能人数が令和2年度の4,910人に対して令和6年度の5,565人となった。（利用実績は図2参照）。
 - 子育てアプリのリニューアルを実施した（令和5年3月）。
2. すべての子ども・若者が健やかに育ち、自立できる環境づくり
 - 公立保育園の耐震整備の推進し、全ての公立保育園の耐震整備が完了した（令和6年度）。
 - 公立幼保連携型認定こども園の設置（令和6年4月1日）及び新大津市幼児教育・保育カリキュラムの改訂を行った（令和5年度）。
3. 行政・学校園・地域が協働で子ども・若者の育ちを支える社会環境づくり
 - 子育て親子の交流等を促進する地域子育て支援拠点として大津市立児童館を位置付け、実施箇所数を7か所から12か所へ増やし、拠点の拡充を図った（令和4年度から）（図3参照）。
4. 支援を必要とする子ども・若者へのきめ細やかな支援の充実
 - 療育環境整備のため、東部子ども療育センターの増設工事を実施した（令和5年11月完成）。
 - 教育支援ルームの増設（令和6年度）など、社会的自立や学校復帰につながる支援の充実を図った。
5. 貧困の状況にある子ども・若者たちへの支援の充実
 - 子ども食堂等支援事業費補助金を創設した（交付実績：令和4年度10か所、令和5年度13か所、令和6年度19か所）。
6. 虐待から子ども・若者を守る環境づくり
 - 子どもの居場所づくり事業の実施場所拡充した（令和2年度1か所⇒令和6年度3か所）。
 - 子育て短期支援事業の対象年齢の拡大及び要件の緩和を行った（令和3年度）（図4参照）。

◆地域子ども・子育て支援事業の主な実績

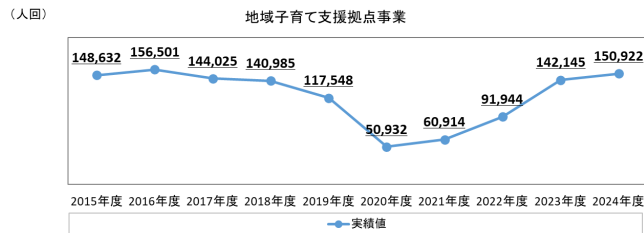
● 図1 妊婦健診事業



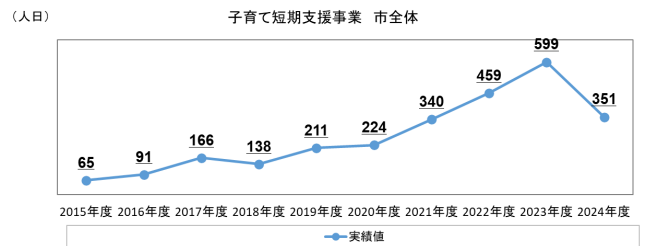
● 図2 放課後健全育成事業



● 図3 地域子育て支援拠点事業



● 図4 子育て短期支援事業



教育・保育の提供体制

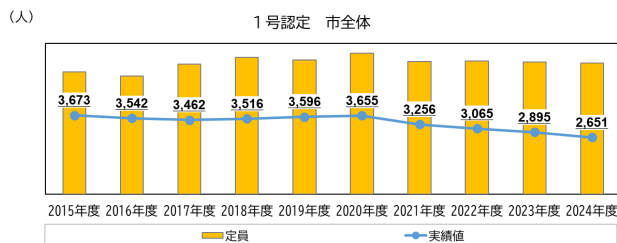
◆教育・保育の定員と利用実績について

1号認定、2号認定、3号認定の区分ごとの、市全体における定員と利用実績の推移は次のとおり。

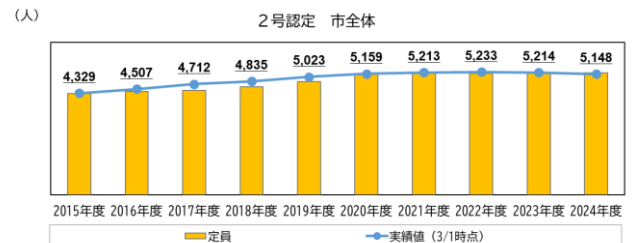
1号認定子どもは、定員に対して利用実績が非常に少なく、減少傾向である。

2号認定子ども及び3号認定子どもは、定員に対して同数程度の実績があり、近年微減傾向である。

● 1号認定子ども（教育コース）



● 2号認定子ども（保育コース）



● 3号認定子ども（保育コース）

